

1	会 議 名	第5回 学校運営協議会
2	日 時	令和7年2月13日 午後6時00分から午後7時30分まで
3	会 場	浦里小学校 音楽室
4	出席者	井澤良夫会長、渡辺惣伸副会長、羽賀信明委員、無雁茉利恵委員、 大矢美穂委員、神田博幸委員、安齋理江委員、（欠席：西澤清一委員）
5	市側出席者	なし
6	公開・非公開等の別	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7	会議概要作成年月日	令和7年2月14日

協 議 事 項 等	
1	開 会
2	会長挨拶 こんばんは。協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。先週、ふるさとが学習発表会があり、参加をさせていただきました。子どもたちは1年間しっかり勉強し、発表にも工夫を殺し、全員が楽しんで発表していたと感じております。 こうした発表会ができるのも、お助け隊の皆さんのお力添えがなければできません。お助け隊の皆様にも改めてお礼を申し上げたいと思います。 翌日の7日の日ですが、信濃毎日新聞にも取り上げていただきましたが、オカリナの演奏は本当に心に染みたくところでございます。 また、当日は発表会に続きまして、お助け隊の総会、またコミュニティ委員会を開催しました。そこで色々と課題も出されたところでございます。課題の検討は運営協議会でというような話もありましたけれども、コミュニティ委員会で議論した方が、出席者も多い中で意見も多く出されるのではないかなという風に今になって感じているところでございます。 当日、早坂先生から大変参考になるご意見をいただきました。若い方を取り込むには、学校の協議会が企業を表彰するというような考えでございました。なかなか面白い発想だなという感じを受けたところでございます。今回、お助け隊の募集をして締め切ったところでございますけれども、新規で入られた方も若干名おります。毎回でなくても、できる時に参加していただける方が増えていくようになればいいなという思いをしたところでございます。 3学期も折り返しとなり、6年生は卒業式を1か月後に控えております。悔いのない小学校生活を送っていただきたいと思います。まだまだ寒い日は続きそうです。委員の皆様には風邪など十分ご利用いただきますよう心から祈念を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。 3 学校長挨拶 先週のふるさと学習発表会、本当にありがとうございました。 子どもたち、色々課題はあるわけですが、1人1人活躍の場があって、発表の内容も、自分たちが学んできたこと、不思議に思ったことを、どうやって解決してきたかという過程をそれぞれ発表していたと思いました。 本当に、教室での教科学習だけではできない学びを展開してるということが本当によくわかる、そういう会だったと思っています。 また、子どもたち自身も、何年生には、ではこういうことができそうなんだって、できるんだ、こんな体験がやれるんだっていうことを学ぶ場にもなってきますし、来年これあれやるんだ、面白そうだなっていう気持ちもきっと持ったのではないかなと思っています。そういう意味でも、やっぱり2月にこの行うふるさと学習の発表会、とても大事だなってことも思いました。 また、それに続いて、お助け隊の総会、それからコミュニティ委員会等させていただきました。何年ぶりの開催だったのですが、思い切ってやってみてよかったなって思っています。 やっぱり大勢が集まって、それぞれお考えの部分を出して共有して、それから課題もお互い共有できたっていうところがすごく大事だったかなと思っています。 今まで、学校の方に、それぞれの助け隊の隊員の皆さんや隊長さんたちから、こういうとこどうすりゃいいのか困るとか、こういうのをなんとかしてもらいたいっていうのが寄せられてはくるんだけど、じゃあそれをどうやって解決するかっていうところが、なかなかこううまく学校か

らの提案だけでは難しい部分もあったりしましたので、そんなところで、同じことを悩みとして持ってるんだとか、解決方法ちょっと見えてきたぞっていうようなところで会ができたことを、とても私としては成果があったかなと思っています。

また同じような機会を来年度も取っていければなっていうことも感じています。

コミュニティスクールっていうのは、やっぱり私思うには、常に発展していくものなんじゃないかなと思うんですね。次々時代や子どもたちによって変わっていくものであって、さらにより良いものになっていくことで、よくウィンウィンって言いますけど、私たち学校も助けていただく、で、そこで参画いただいている地域の皆さんたちにもそれぞれ自分の中で子どもたちとの関わりを増やしていただいて、いろんなことで生き甲斐に持ってもらう、そういう部分がすごく大事なかなとも思っています。そんな活動になるようにまたしていければなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

4 協議

(1) 学校評価について

事務局：下のラインボックスが課題。キーワードは、授業の振り返り、あと主体的な学び、お助け隊の活用、子ども同士の関わり、家庭学習、あと体力、家庭での過ごし方、1人1人を大切にした指導、安全管理の具体的な内容については保護者の方に聞いていかなければいけない。

子どもたちのところですよ。高学年については、話し合い活動で自分の考えを伝える等に苦手意識を持っている児童が多い。自己肯定感がなかなか高くない児童を大事に見ていかなければいけない。また課題としては、地域の方からのアンケートの回収が、少ない。お助け隊の方たちをお願いしたアンケートはすごくたくさん書いていただいたので、関わりのある方に書いていただくことがいいか。

今回、音楽会等は割と地域の方も来てくださったが、授業参観の時にはなかなか地域の方にまで来ていただくことがなかったのも、そういう意味でも学校評価が地域の方から上がってくるのが少なかったのではないかなと思う。

安斎：働き方改革は、だいぶ時間は減ったんですか。

事務局：学校教育支援員さんが、今年度から入り、今月、水、金の午前中来てくださって、職員の負担は相当軽減されている。軽減された分、他のことをやっているのも、勤務時間が短くなっていると言われると、なっていない。ただ、今年度の本校は職員が前向きに取り組んでいるので、勤務時間が長くなって、とっても大変で困っている雰囲気はない。

(2) 学校教育目標 グランドデザインについて

校長：それぞれの目指す子ども像だったり学校目標だったり、それらを支えるものだったりというところで、関係性を少し見えるような形で矢印などを入れた。それから、12月に子どもたち、浦里小学校をもっと良くする作戦会議で出てきた子どもたちの願を入れて、あと左側には、私、校長としての願いを書いている。

進行：いかがですか。よろしいですか。正式には次回ということで。

(3) ふるさと学習発表会・お助け隊総会・コミュニティ委員会

事務局：反省の次のページの検討事項、確認事項を今日ここで検討したり確認したりできるといいと思うところを、まとめた。

学校運営協議会とコミュニティ委員会の連携がもっと必要じゃないかっていうご意見いただいたんですけども、その部分をどう連携していけばいいのかわかる。

次がお助け隊の再編成について。これ、かなりたくさんの方からご意見いただいた。再編成については、総会等でも説明したが、英語お助け隊については、今、ALTの先生が週に2回来てるので、来年度は休止。

学校評価集計隊も、先ほどの学校業務支援員が入ったことで、学校評価集計隊の皆様にはお伝えしてあるが、来年度以降は、その支援員が入っている限りは、お手伝いいただかなくても大丈夫。習字教え隊については、賞状書きお手伝い隊に変更。

また、隊長になると、いくつか仕事が増えてしまうので、隊長をおかない隊をつくる。家庭科支援隊は、教科支援ボランティア隊の家庭科班にし、負担軽減。

また、クラブ教え隊も隊長がなし、環境整備隊としていくつかの隊を再編成も考えられるが、このメンバーで決めていいのか。来年度の初めは、ここに書いてあるくらいのレベルの改編にしておいて、来年度の7月のところで色々ご意見を実際の方たちにお伺いして、7月から、途中から変更でもそんなに困らないかなとは思うので、そういう形もいいか。

会長：今、事務局から話あったが、やっぱりここだけで決めるんじゃないくて、みんなで、コミュニティ委員会があるんですから、そちらで意見も聞いたりして、年度途中になるか翌年度の4月からか、やっていく方がいいのではないかな。

事務局：あと、検討事項は、PTAや若い世代をどう巻き込んでいくか。巻き込んでいくんためにも、保護者への活動の周知方法をどうするか。

無雁：役員にならないと、一覧とかを見る機会、保護者はなかなかない。やっぱり一緒に活動してもらう中で、知り合えると1番いい。

学校長：例えば、PTAの方もお助け隊のどこかの隊に所属していただいて、できる時にできる人が参加する。1回も出なくてもいいんだけど、所属してもらうと1番いいかな。

大矢：お助け隊に入るとしたらとか色々考えて、お助け隊はなんか教えなきゃいけないとか、できるものがそんなにないかなんて思って。参加できる人はどうぞみたいな感じだったら、行く人ももしかしたらいるのかな。

無雁：そのお助け隊の募集のプリントいただいたが、これだけだと内容はわからない。参加しますって言いづらいです。PTA総会の時にでも、紹介や参加の意図を伝えて勧誘するのはどうか。

事務局：PTAの役員会で相談してみる。

（４）コミュニティスクール実践目標

事務局：実践目標だと具体的な形で、学校はこういうこと、地域はこういうこと、PTAはこういうことに取り組みながらここに向かってやっていきましょうみたいにはっきり出るとよいのでは。それぞれどんなことができるのかをこの学校運営協議会とかコミュニティ委員会で話をし、それぞれの立場から話が出せればいい。

早坂先生の話にあったように「人は人を浴びて人となる」やはり関わりが大事。挨拶1つも人との関わりだし、そのきっかけから関わりが増えていく可能性もあるし、お助け隊もそういう気持ちで子どもたちに、学校に関わっているということを再認識する。メディアコントロールを何のためにするかというと、メディアやゲームと自分だけの世界にずっと没入してるんじゃないくて、家族と関わる時間や、外で友達と遊ぶ活動や、地域の行事を一緒にやることを大切にしようというのが、もとにあるのでは。

安斎：ちょっとまた原点に戻って、子どもたちはこういうところを中心にやる、親はそれをこういう風にやる、地域としては受け皿としてやるっていう風にやってみるのもいいかなと思う。ずっと同じじゃなくて、目先を変えることは再注目してもらうためにもいいのかなと。

（５）令和7年度年間計画

事務局：大きな変更点については、家庭訪問を自宅場所の確認のみにして、その代わり、7月に個別懇談会を行って、通知表を2学期制にして、12月は希望者のみ個別懇談会を行う。集団登校は学期の初めと年度末、新しい班になった時は班長さん変わって新しくなる時のみ。7時45分から8時の間に登校できるように保護者に協力をお願いし、見守り隊の皆さんにご負担かけないようにしたい。PTAの街頭指導を自由登校の時にも行い、自由登校の様子もPTAの方に見てもらおう。

（６）令和6年度活動報告

事務局：昨年度と同様ですが、検討したことが入るようにしたいと思っています。

続きまして、令和6年度卒業式、令和7年度入学式について変更点として、保護者の代表挨拶をなしにすることにしたいと思っています。学校運営協議会の皆様には、卒業式の前日準備、卒業式・入学式の来賓受付と接待のお手伝いをお願いします。

（７）子育て委員会

大矢：メディアコントロールデーについて1年間総合的に感想を見て、一生懸命とり組んでるお子さんと、ちょっと意識するけどできないないというお子さんと分かれている感じがありま

す。取り組んでいるご家庭の中では、その期間がコミュニケーションを取る機会になっているという感想もとても多いので、引き続き取り組めるといいと思います。今回オクレンジャーで事前に今回この期間で行いますというお知らせをいただいて、2学期よりは積極的に取り組んでいただけてるような感じがしますので、そういうお知らせもしていただいたり、学校でファイルを配る時に、メディアや挨拶について少し先生からも言っていただけると、ちょっと子どもの中でも気持ちが違うのかなとは思いました。

(8) その他

事務局：監査についてなんですが、3月21日金曜日の16時からここで行いますので、学校運営会の副会長さん、会長さん、お2人お願いします。お願いします。あと、最後に、コミュニティースクールの懇親会、ほんとにありがとうございました。有意義な会になったかと思います。会計報告、最後に載せてありますので、ご覧ください。以上です。

無雁：2月のPTA会長の会議が多くて、負担が大きい。なんとかできないか。

事務局：PTA三役引継ぎと、評議員会を同日に行うのはどうか。

5 閉会の言葉

次回は第6回 3月 19日（木） 開始時刻は午後6時